

問 かつての厚生病院運営委員会が2年間も開かれていない。開催を働きかけるべきでは。

答 コロナ禍により中止を余儀なくされていたが、より安心して受診しやすい病院となるよう、運営委員会の開催を要望していく。

鹿角市総合計画について

問 起業・創業支援事業について、キッチンカーや移動販売車の起業は支援対象となるか。

答 キッチンカーを含む移動販売車での起業も、車内の改装や調理設備費等については支援の対象となるため活用が可能である。

問 八幡平市の就活生ドラフト会議は、

従来の就活とは真逆で、就活生が企業に対して自分をプレゼンし、企業からの指名を獲得する取り組みである。

就活生は自信とシビックプライドの醸成に、企業も人材確保においてそれぞれメリットがある就職支援だと思うが、鹿角市でも今後取り組んでみてはどうか。

答 本市では高校3年生を対象に、地元企業の採用担当者と直接面談ができる情報交換会や応募前の職場見学会を実施しているほか、市発行の地元就職情報誌により、管内企業の情報を広く周知している。また、進路指導担当者向けの職場見学会を実施し、生徒本人の意向に沿った就職相談に結びつけている。

今年度から、ハローワーク職員を高校に派遣する事業を実施する予定で、企業と学生の効果的なマッチングを図っていく。

質問した項目

- 市制施行50周年事業について
- 鹿角市総合計画について
- 地域医療の課題について
- 市民アンケートについて



録画配信はこちらから

金澤 大輔 議員（鹿真会・公明）

質問時間 45分



問 新型コロナウイルスワクチン接種について、全年代に対して接種券を送付しない申請制にできないか。

答 18歳以上で3回目接種を行った方全員の接種機会を確保するために4回目接種券を送付するが、接種については任意となる。

新型コロナウイルス関連について

問 子供たちは相手の感情を理解するため、表情や口元などの情報活用を覚えていく。

マスク着用により表情が隠れることで、子供の発達に支障が出ることを懸念する声もある。保育施設などでのマスク着用について、本市の考えと対応は。

答 感染リスクの軽減のため、保育士のマスク着用は継続する。保育現場におけるコミュニケーションや声色などに配慮し

ている。各家庭においても、子供と触れ合う時間を大切に、学びの機会を増やしてほしい。

小中学校の給食費について

問 学校給食の無料化を望む声を伺っている。子育てしやすい環境は、人口流出防止、市内への移住促進にもつながると考えるが無料化する考えはあるか。

答 学校給食に係る保護者の負担は食料の購入経費のみとしており、完全無料化には年間に約1億円を要することが見込まれる。

学校給食は食育の一環であり、児童・生徒の健全な発達を促すものであることから、今後も市と保護者が相互協力のもと、一定の負担を頂きながら進めていく。

質問した項目

- 新型コロナウイルス関連について
- 災害に対する体制の強化について
- 小中学校の給食費について

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分



録画配信はこちらから